

公 告

第 97 回日本医療機器学会大会 演題募集について 大会テーマ：「日本から未来へ」



このたび、2022 年 6 月に開催されます第 97 回日本医療機器学会大会の大会長を拝命しました、東京大学医学部附属病院緩和ケア診療部／麻酔科・痛みセンターの住谷昌彦でございます。2 年後に 100 周年を迎える大変伝統のある本学会年次学術大会の大会長にご推挙頂きました学会の理事、代議員、そして会員の皆様に改めて感謝申し上げます。先輩諸氏が作り上げてこられたように、この第 97 回大会も有意義な学びの場とすべく、皆様方のご支援、ご協力のもと努力して参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

病院機能・医療機器にとっても重大な懸念であったコンピュータ西暦 2000 年問題から始まった 21 世紀も約 1／5 が過ぎましたが、現在のこのコロナ禍において、青柳卓雄博士が開発されたパルスオキシメータが一般の方からも注目を浴びています。パルスオキシメータと同様に上部消化管内視鏡（胃カメラ）も日本人が開発し、世界中で数えきれない程の命を救っています。素晴らしい医療機器が生まれた日本から未来へ繋がるようにとの願を込めて、大会テーマを「日本から未来へ」と設定させていただきました。

本学術大会が、新たな医療機器・医療技術を生み出す場となるように、プログラム委員長の東京大学医学部附属病院企画情報運営部 新秀直先生とともに意義深い学術大会にして参りたいと存じます。

本学会の理念が「産学連携による医療技術、機器の改良開発並びに医療安全の発展に寄与することにより、医学・医療の質の向上を目指し、人類の健康と福祉に貢献する」であることから、会員は臨床工学技士、滅菌技師／士、看護師、医師、工学系研究者、医療機器企業など多彩な分野・職種に渡ります。是非、本大会においても、活発な討論と情報交換がおこなわれ、ご参加いただく方々の明日からの医療の実践・研究等に役立て未来に繋げて頂くことを願っております。多くの皆様のご参加と演題発表を心よりお待ち申し上げます。

第 97 回日本医療機器学会大会

大会長 住谷 昌彦

（東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部・部長）

1. 会 場：パシフィコ横浜・アネックスホール

〒222-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL.045-221-2155 <https://www.pacifico.co.jp>

2. 会 期：2022年6月2日（木）～6月4日（土）

・学 術 集 会 6月3日（金）～6月4日（土）

・メディカルショージャパン&ビジネスエキスポ 2022

6月2日（木）～6月4日（土）

3. 募集演題の区別

募集する演題の種別は、通常の「一般演題」、企業新製品やソリューションなどを紹介する「トピックス演題」といたします。奮ってご応募ください。

1) 「一般演題」の申込み要件

「一般演題」は、現地での会場参加の場合は口述形式、WEB参加のみの場合はポスター形式で発表していただきます。なお、発表には、発表者または共同発表者のうち、1名が本学会の正会員であることが必要です（演題申込時に非会員の方は、演題採択後に入会手続きをしてください）。申し込まれた演題は、プログラム委員会で抄録内容を審査した結果、演題種別を変更させていただく場合や不採択とする場合がありますのでご了解ください。

2) 「トピックス演題」の申込み要件

「トピックス演題」は、現地での会場参加の場合は口述形式、WEB参加のみの場合はポスター形式で発表していただきます。発表内容は原則として企業における新製品開発や製品改良、さらには具体的なソリューションを発表するものとします。なお、発表には、発表者の所属する企業が本学会の企業会員であるか、併設展示会「メディカルショージャパン & ビジネスエキスポ 2022」の出展企業であることが必要です。なお、トピックス演題に申し込まれますと演題名に商品名の標記が可になります。文献的考察やエビデンスの提示は不要です。

ただし、申し込まれた演題は、プログラム委員会で抄録内容を審査した結果、単に企業名の宣伝やイメージアップ活動、新製品紹介を目的としたものと判断された場合は不採用となりますのでご了承ください。

4. 発表形式

日本語による口述発表（現地での会場参加の場合）とポスター発表（現地での会場参加の場合かWEB参加のみの場合）とします。なお、ご応募時に口述発表かポスター発表（会場参加）、ポスター発表（WEB参加のみ）を選択していただきます。

1) 口述発表

「一般演題」、「トピックス演題」ともに発表時間は質疑応答を含め1演題10分程度の予定です（ただし、応募演題数により発表時間が変更になる場合があります）。

各会場にはパソコン用プロジェクタ1台を用意しますので、各自パソコンを

ご持参して頂くか、USB メモリをご持参して頂き、学会で用意するパソコンを使用するかいずれかになります（詳細要領は学会誌 2022 年 4 月号に掲載します）。

2-1) ポスター発表（会場参加の場合）

ポスター発表を講演者・聴講者双方から魅力あるものにするために、セッションごとに座長の進行のもと指定した時間でポスターの前で口述説明をおこなっていただく予定です。また、ハンドアウト（資料）などの配布や実物供覧、動作供覧などを可としますので、ご希望の方は事前に事務局までご連絡ください。ポスター掲示用ボードのサイズについては、大会抄録集（学会誌 2022 年 4 月号）の発表要項にて詳細をご案内します。

2-2) ポスター発表（WEB 参加のみの場合）

「一般演題」、「トピックス演題」とともにポスターの掲出のみにになります。

5. 申込み方法（一般演題およびトピックス演題）

1) 学術集会演題抄録登録システムよりお申し込みください。学会ホームページ内の第 97 回学術大会ページ (<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsmi97/>) からお申込ください。

2) 申し込み受付期間：2021 年 11 月 4 日（木）～ 2022 年 2 月 9 日（水）とします。期間内であれば、抄録内容の追加・修正は可能です。

3) 演題の採否、発表形式ならびに講演時間などについては、大会長にご一願います。

4) 登録ページの指示にしたがって、演題の所定の内容（以下のもの）を登録してください。

(1) 演題分類番号（**7 項の演題分類**から希望分類を一つ選んでください）。

(2) 発表形式（口述発表、ポスター発表を選択ください）。

(3) 演題名（40 文字以内）。一般演題の演題名として商品名の記載は不可（トピックス演題の場合は可）とします。

(4) 発表者と共同発表者の氏名および所属施設名。

(5) 抄録本文は、日本語 800 字以内にまとめてください。図表・写真は使用できません。

(6) 記載上の注意事項：一般演題の場合、抄録演題名に商品名を記載することはできません。本文中で商品名を記載する場合、商標登録されている場合は後ろに必ず上付きで®マークをつけてください。

(7) 確実な連絡先（住所、氏名、電話／FAX 番号、e-mail アドレス）を記載してください。

(8) 発表に関する利益相反（COI）を申告してください（6 項参照）。

(9) 演題登録時には登録者本人に任意のパスワード（半角英数文字 6～8 文字以内）を決めていただき、演題登録が終了すると同時に登録番号が発行されます。パスワードと登録番号は抄録内容の確認や修正に必要となります

ので、必ず控えを取るか、その画面をプリントアウトして保存してください。

なお、パスワードと登録番号の記録および機密保持は、登録者ご本人に依存します。セキュリティ確保のため、パスワードと登録番号に関するお問合せには一切応じられませんので、ご了承ください。

(10)学会終了後に、演題発表スライドのPDF公開（本学会・会員専用HP）の公開可否（公開可、公開不可、スライド修正後公開可のいずれかを選択）。

6. 日本医療機器学会大会での発表に関する利益相反の申告について

発表者全員について発表に内容に関連する団体との関係で、抄録登録日を基準として過去2年間において現在までの、以下の1)～10)の利益相反状態の有無をお答えください。

- 1) 1つの企業、法人組織や営利を目的とした団体から、年間100万円以上の報酬を受け取っている場合。
- 2) 1つの企業の株式から、年間100万円以上の利益を取得した場合、あるいは当該全株式の5%以上を保有している場合。
- 3) 企業、法人組織や団体から、特許権使用料として、1つの権利使用料が年間100万円以上の場合。
- 4) 企業、法人組織や団体から、日当（講演料など）として、1つの企業、法人組織や団体から年間50万円以上を受け取っている場合。
- 5) 企業、法人組織や団体から、原稿料（執筆料）として、1つの企業、法人組織や団体から年間50万円以上を受け取っている場合。
- 6) 企業、法人組織や団体から、研究費（受託研究費、共同研究費など）として支払われた金額のうち、1つの企業、法人組織や団体からの総額が年間200万円以上の場合。
- 7) 企業、法人組織や団体から、奨学（奨励）寄付金として支払われた金額のうち、1つの企業、法人組織や団体から申告者個人または申告者が所属する部局（講座・分野）あるいは研究室の代表者に対する総額が年間200万円以上の場合。
- 8) 企業、法人組織や団体が提供する寄付講座に申告者らが所属している場合。
- 9) 1つの企業、法人組織や団体から受けたその他の報酬（旅行、贈答品など）が、総額年間5万円以上の場合。
- 10) 過去5年以内に企業・営利を目的とする団体から研究機関および医療機関へ転職し、研究テーマが継続している場合。

該当される場合は、COI自己申告書（様式3）の送付が必要です。日本医療機器学会HPより書式をダウンロードの上、第97回日本医療機器学会大会事務局まで郵送にてお送りください。

また、演題発表をされる場合は、発表スライドの最初（または、演題・発表者などを紹介するスライドの次）にCOI状態の有無を開示する必要があります。

7. 演題分類

- | | | |
|-------------------------|---------------|--------------|
| 1) 医療画像装置 | 2) 検査機器 | 3) 人工呼吸器 |
| 4) 血液浄化装置 | 5) 心肺補助装置 | 6) 人工臓器 |
| 7) 再生医療 | 8) インプラント | 9) 医療材料 |
| 10) 福祉・リハビリ機器 | 11) 在宅医療・介護 | 12) 病院設備 |
| 13) 医療機器管理 | 14) 電磁環境と電波管理 | |
| 15) 臨床工学（クリニカルエンジニアリング） | | |
| 16) バイオエンジニアリング | | |
| 17) 医療 ICT（AI・IoT・RPA） | | |
| 18) トレーサビリティ（UDI） | | |
| 19) 電子カルテシステム | 20) 手術室・ICU | 21) 洗浄・消毒・滅菌 |
| 22) 感染防止 | 23) COVID-19 | 24) ロボティクス |
| 25) 新技術開発／改良 | 26) 物流・物品管理 | 27) アウトソーシング |
| 28) 医療経営 | 29) 薬事・法制化 | 30) 医療安全対策 |
| 31) チーム医療・タスクシフト | | 32) 災害報告・対策 |
| 33) ものづくり（医工連携） | | 34) その他 |

8. 「若手奨励賞」候補のノミネートと選考方法

発表時に 40 歳以下（自己申告にてお願い致します）の本学会正会員が応募した「一般演題」の中から、特にその発想や発展性の高い演題を「若手奨励賞」の候補演題としてあらかじめ学会ホームページなどで公表します。

「若手奨励賞」の候補演題は、当日の演題発表を含め、プログラム委員会および座長によってさらに審査し、学会最終日に受賞者を表彰します。

9. 「優秀発表賞」候補のノミネートと選考方法

本学会会員が発表した「一般演題」の中から、特に学術性・新規性の高い演題を「優秀発表賞」の候補演題としてあらかじめ学会ホームページなどで公表します。

「優秀発表賞」の候補演題は、当日の演題発表を含め、プログラム委員会および座長によってさらに審査し、学会最終日に受賞者を表彰します。

10. その他

- 1) 会員各位および関係各位から多くの演題の応募を希望します。
- 2) 本学会認定の第 1 種滅菌技師、第 2 種滅菌技士による学会発表については、大会参加者に 8 単位のほか、①発表者：15 単位、②共同発表者：10 単位、③講師として講演：15 単位が取得できます。
- 3) 本学会認定の MDIC による学会発表については、大会参加者に 15 点のほか、①発表者：15 点、②共同発表者：10 点、③講師として講演：20 点が取得できます。
- 4) 日本生体医工学会と合同認定の臨床 ME 専門認定士による学会発表については、大会参加者に 15 点のほか、①発表者：15 点、②共同発表者：10 点、③講師として講演：20 点が取得できます。

- 5) 代議員はぜひ1題は応募されるようお願いします。(共同発表でも結構です)
- 6) 大会抄録集(学会誌2022年4月号)に掲載されたすべての記事の著作権および版権は日本医療機器学会に帰属します。ただし、申請により引用等を認めることがあります。
- 7) 新型コロナウイルス感染状況によっては、開催ならびに発表方式が変更になる場合がありますことを、ご承知おきください。